

平成27年度 第1回 大阪市立夕陽丘中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立夕陽丘中学校

校園長名 福 山 英 利

日 時	平成27年4月30日（木）	
場 所	大阪市立夕陽丘中学校 多目的室	
出席者	委員 など	川村光（委員長・座長）、富士原純一（委員）、米谷忠俊（委員）、澤井宏幸（委員） 伊藤雅輝（委員）、中田弘美（委員）、森川由紀子（委員）
	校園	福山英利（校長）、坂本政隆（教頭）、小松和樹（首席、生徒指導主事）、吉岡雄一郎（教務主任）、吉野徹（学年主任、人権教育主担）
	区役所	加守田眞志（窓口サービス課課長）
議題	学校協議会の目的等、共通理解 運営に関する計画について 平成26年度 学校関係者評価報告書 平成27年度 運営に関する計画 協議・意見交換 まとめ	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 学力向上のため、校内研究授業など、引き続き実践し、教員の意識を高めていく。さらに、生徒同士が話し合う授業の実践を行う。 (2) 生徒が社会に関心をもたせるために、元気アップ地域本部の協力で地域行事に参加することを活性化させる。 (3) 清掃活動を通して、美化意識を高め、環境を整えることの重要性を理解させる。 (4) 生徒の学力の伸びや意識を把握するために、年度内に確認できる指標を設定するようにする。	・教員は普段から、授業の工夫をしており、その積み重ねがアンケート結果に表れている。 ・テスト前学習に参加する生徒は増えているが、数値による年度目標として、テスト前学習の参加人数の増加を設定することには疑問が残る。 ・教員による指導や取組みの結果、遅刻数の減少に繋がっている。ピア・サポート活動や体験活動の取組みを活かすことで人の気持ちがわかる生徒の育成に繋がっている。 ・生徒は地域行事に積極的に参加していると言いがたい。積極的に参加する工夫と仕掛けをしていく。
協議 資料	平成26年度 学校関係者評価報告書 平成27年度 運営に関する計画・自己評価	
備考	傍聴者[1]名	
	天王寺区役所 サービス窓口課課長	